



粒ウニやワカメなどを販売する中野中3年生



宿戸中3年生は自分たちで作った海産物を販売

首都圏に特産品をPR

町ふるさと特別大使に任命された中野中(関根正彦校長)の3年生22人と宿戸中(吉岡裕晃校長)の3年生30人が修学旅行中の4月13日、東京都内で町の特産品を販売しました。

中野中は中野区の「中野ブロードウェイ」で、宿戸中は中央区の「いわて銀河プラザ」で塩ウニやサケトバなどを販売し、首都圏に町の魅力を大きくPRしました。



同協会の猪石悦男会長と南館秀昭校長

ダイバー養成に寄付金

町観光協会は3月30日、南部もぐり後継者育成に活用してほしいとの思いから、同協会が販売する南部ダイバーグッズの売上から10万円を種市高に寄付しました。



潜水器を寄贈し、祖父の萬吉さんの生涯について話す増田さん

技術者育成の願い込め

横浜市在住の増田平さん(89歳)が4月14日、種市高(南館秀昭校長)を訪れて、同校にヘルメット式潜水器を寄贈しました。

日本の潜水の先駆者とされる増田萬吉の孫である平さんは、約3年前に知人の紹介で同校を知り、「何か役に立つことがしたい」との思いから、現在では製造が困難な同潜水器を約2年かけて完成させ寄贈。日本の未来を担う技術者の育成を願いました。



大野福祉センターで開催された開所式

子どもの居場所を提供

町社会福祉協議会(館野隆会長)は4月11日、大野福祉センター内に「放課後等デイサービスまきば」を開所しました。

放課後等デイサービスは、特別支援学校等に通う子どもたちに放課後や夏休みなどの活動の場を提供し、生活指導や学習、文化活動の支援を行うものです。

4月14日に開催された開所式では、館野会長が「子どもの居場所、療育の場である放課後等デイサービスを利用いただくことで、家族の負担が軽減されることを願う」とあいさつしました。

町内の学校や地域、各種団体などで行われた催しを紹介します。

町 特養老人ホームうなばら荘が民営化の基本理念を引継ぐ



(写真上) うなばら荘前で行われた施設引渡式・開所式



(写真右) 調印式で協定を締結した信田理事長(左)と水上町長

特別養護老人ホームうなばら荘施設引渡・開所式が4月1日、同施設前で行われ、施設運営者の社会福祉法人ひろの会(信田沙織理事長)と町関係者など約30人が出席しました。

式では、水上信宏町長が施設引渡書を交付し「基本理念を引き継ぎ、愛される施設となるよう期待する」とあいさつ。信田理事長は「スタッフで心をつなげ、利用者や家族に寄り添った施設運営に努める」と今後の抱負を話しました。

同日には、同施設の「施設運営基本協定」と「災害時の福祉避難所設置運営協定」調印式も行われました。



中野地区で行われた交通安全街頭啓発

新 春の交通安全運動 入学期の交通安全を

「春の全国交通安全運動」の一環として、4月11日、種市地区7カ所、大野地区5カ所で交通安全街頭啓発が行われました。

通学路の横断歩道付近などで交番所員や交通指導員、交通安全協会役員らが、児童や生徒に「車に気を付けていってらっしゃい」などと新入学期の交通安全を呼びかけました。

また、4月6日から15日までの同運動期間中には、町内の事業所を対象とした職場巡回や、交通安全パレード、各小中学校等での交通安全教室が実施されました。



オープニングセレモニーで行われた始球式

待 大野パークゴルフ場がオープン 望のシーズンが開幕

おおのキャンパス内の大野パークゴルフ場が4月9日、今シーズンの営業を開始し、春の穏やかな日差しの下、愛好者らが初打ちを楽しみました。

同日開催されたオープニングセレモニーでは、洋野町パークゴルフ協会の館野隆会長が「ことしは国体のデモンストレーションスポーツが実施される。たくさんの人からおいでいただきたい」とあいさつ。始球式の後、出席者が牛乳で乾杯しシーズンの開幕を祝いました。

同施設は、11月末まで営業します。